



季刊誌 はばたき

vol. 36

2022. 12

季刊誌
vol. 36
2022. 12

Contents

副院長就任挨拶	P1
事務長・課長就任挨拶	P2
学会報告(北海道&大阪)	P3
アテントマイスター研修	P4
行事食	P5
My Favorite	P6

羽
はばたき

健康な未来を
令和健康科学大学
REIWA HEALTH SCIENCES UNIVERSITY

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目1番12号
TEL 092-607-6701 (代表) FAX 092-607-6740
HP: <https://www.rhs-u.ac.jp/>
入試・広報専用 TEL 0800-888-0053

一般社団法人 巨樹の会
新宇都宮リハビリテーション病院

〒321-0941
栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号
電話番号: 028-666-4880 (病院代表)

！ 公共交通機関等利用のお願い

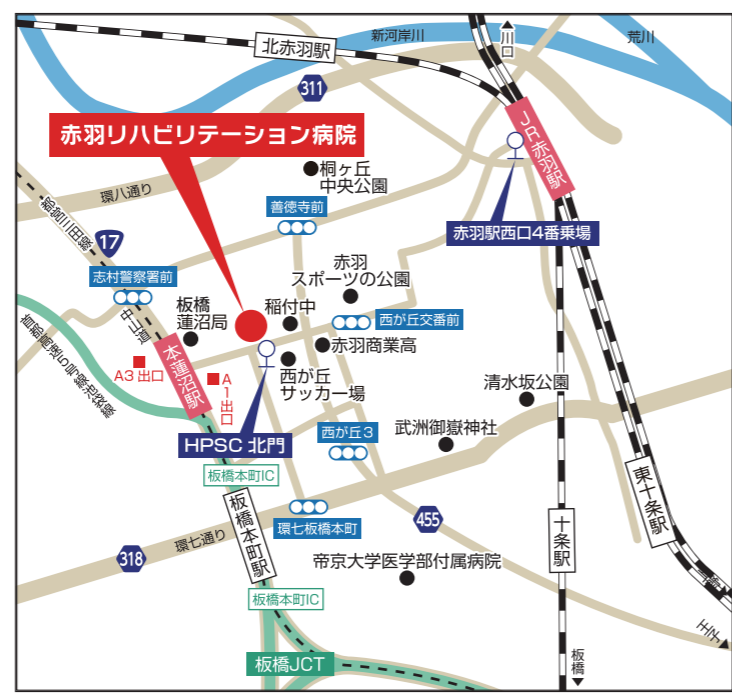
当院は来院の皆様全員に提供できる駐車スペースを十分に持ち合わせておりません。誠に申し訳ございませんが、公共交通機関・タクシー等のご利用をお願い致します。また、お車で越しの際は指定駐車場をご利用いただき、路上駐車などされない様お願い致します。何卒、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

▶ 徒歩ルート

本蓮沼駅 A1・A3 出口を出て西が丘サッカー場方面に徒歩で直進約 6 分

▶ バス(国際興業バス)ルート

赤羽駅西口 4 番乗り場「池袋」行・「日大病院」行・「大和町」行に乗り→「HPSC 北門」下車 徒歩約 3 分



神奈川県箱根 (職員撮影)

<http://akabane-rh.jp/>

一般社団法人 巨樹の会
赤羽リハビリテーション病院

〒115-0055 東京都北区赤羽西6丁目37番12号 TEL : 03-5993-5777 / FAX : 03-5993-5778
E-mail : info@akabane-rh.jp

一般社団法人 巨樹の会
赤羽リハビリテーション病院

就任のご挨拶



副院長
岩崎 康夫

小中千守院長のお力添えで、本年10月から副院長を拝命致しました。

私は箱根温泉の玄関口、神奈川県箱根湯本で生まれ、週末の夜など、旅館の団体客の宴会のマイクの音を聞きながら育ちました。病棟で流れてくる演歌のメロディーを聞くと居酒屋の隣のような環境で受験勉強に励んだ高校生の頃を思い出します。

医師としての専門は脳神経外科ですが、20年以上前から手術は卒業して、外来診療や脳ドックなど健康診断業務に携わってきました。

リハビリテーション病院に入院してくる患者さまの半数以上が脳血管障害の患者さまで、これまでの脳外科医としての経験が少しは役に立ちそうです。また、交通事故による頭部外傷後の高次脳機能障害の重症度を審査する業務にも関わっていますので、この方面での経験も当院での現場の仕事に活かせるかと思えます。

趣味では、落語が大好きで、録音・録画したカセットテープやDVDを多数コレクションしています。「一笑一若 一怒一老」（笑うと一歳若返り、怒ると一歳年をとる）という言葉があるようで、笑いが健康にも良いことは科学的にも証明されているようです。

新しい職場で、落語と晩酌でストレスを解消しながら頑張りますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

経歴

昭和 42 年 3 月	神奈川県立湘南高校卒業
昭和 48 年 9 月	東京大学医学部卒業
昭和 51 年 10 月	西ドイツ キール大学医学部附属病院助手
昭和 54 年 3 月	自衛隊中央病院 海上自衛隊 1 等海尉 医師
昭和 62 年 4 月	日本赤十字社医療センター脳神経外科副部長
平成 17 年 4 月	国際医療福祉大学教授、附属三田病院脳神経外科部長
平成 19 年 4 月	三田病院予防医学センター長兼任
平成 26 年 4 月	公益財団法人 化学療法研究所附属病院 予防医学センター長、国際医療福祉大学教授
平成 29 年 9 月	国際医療福祉大学市川病院に改称
令和 4 年 10 月	赤羽リハビリテーション病院 副院長 着任



事務長兼 関東統括事務局長
古野 尚

令和4年10月1日付けで事務長に着任致しました古野 尚(ふるの ひさし)でございます。私にとって当院は2013年の新規病院立上げ業務の陣頭指揮に携わり、初代事務長も務めさせていただいた経緯もあり大変思い入れのある病院でもあります。当時は東京都区西北部保健医療圏にはリハビリテーション専門病院が数施設しかなく、リハビリ医療を必要とする患者さまは遠く離れた他圏の施設へ入院を余儀なくされていました。しかしこの10年で圏内に多くのリハビリ病院施設が開設され、地域の患者さまの選択肢も増えお住いの近くでリハビリ医療を受けることができるようになったことは大変喜ばしいことです。ただ病院側からすれば競争相手が増えることにより、病院運営向上への努力を重ねなければ将来生き残ってはいけないう厳しい時代となりました。しかし其々の病院が切磋琢磨することにより地域全体のリハビリ医療の質が向上していくことは重要であると考えます。

当院もこの過当競争に後れを取らないよう各部署がワンチームとなり患者さまにより高度なリハビリ医療を提供できる病院を目指し、事務長の立場から病院全体を盛り上げていくことをお約束致します。引き続き各方面の方々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



総務課長
竹井 孝之

佐賀県武雄市にありますが新武雄病院から10月1日付で赤羽リハビリテーション病院に転籍をしてきました竹井孝之と申します。

福岡和白病院に平成16年4月に入社し、平成20年8月に武雄市民病院へ転勤し全国でも初めての公的病院の民間移譲を経験することができました。平成23年6月に新築移転し現在195床の急性期病院として地域医療に貢献しています。

武雄市は大雨被害が昔から多い地域であり、2019年と2021年に大雨を経験しました。全国の皆様のご支援を頂けたことは大変感謝しています。

東京には出張や短期の業務で上京したことは何度かありましたが、いざ住んでみると九州との違いに毎日が驚きの連続です。まずは東京に早く慣れることを目標にし、今までの経験を活かして赤羽リハビリテーション病院に貢献できるように精進していきたいと思えます。



庶務課長
宮崎 みちよ

八千代リハビリテーション病院から10月1日付で赤羽リハビリテーション病院に転籍をしてきました宮崎みちよと申します。

八千代では、平成18年2月に開設準備室に第1号として入社し、初めは60床しかない小さな病院からスタートし、病院移転や増築を経験し、八千代も今では240床の病院となり、沢山の貴重な経験をさせていただきました。

初めはカマチグループのこともよく分からず、沢山の皆さまに支えていただき、沢山のことを学ばせていただきました。結婚を機に千葉に引越しをし、千葉勤務ではありましたが、東京生まれの東京育ちのため、実家にも近く、心機一転、初心を忘れず、赤羽リハビリテーション病院で、八千代での経験を活かして、少しでも病院に貢献し、日々努力をしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大阪学会



2022年10月15日～10月16日 大阪にて第20回日本神経理学療法学会にて発表させていただきました。「脳卒中の立ち上がり動作の加速度の規定要因～SIASに着目して～」を発表し、沢山の方から質問をいただき、とても勉強になり良い経験になりました。コロナ禍での学会参加になりましたが、予想を超えた人数であり、シンポジウムが立ち見参加になるなど、従来の学会に戻りつつあると感じました。また機会がありましたら学会参加し、自己研鑽に励みたいと考えています。

リハビリテーション科 K・O



北海道学会

今回、2022年9月30日～10月1日のリハビリテーション・ケア合同研究大会苫小牧2022へ参加し、「当院における誤嚥性肺炎の発症要因」を題に発表を行いました。

今まで学会に参加をしたことは有りますが、主発表者としての参加は初であったため非常に緊張をしていましたが、発表後は様々なご意見やご指摘を頂くことができ、私自身が気付かなかった数多くの事を学ぶことが出来ました。

今回の経験を病院で広め、活かすことで皆様に還元することが出来ればと考えています。

リハビリテーション科 K・N



2022年5月に赤羽リハビリテーション病院では、ケアワーカーの技術向上の一環として大王製紙株式会社様主催によるアテントマイスター・プロ研修を行いました。各病棟から代表としてケアワーカーが選出され、一日にわたる研修を受けアテントマイスター・プロと認定を受けることが出来ました。

研修を受けたスタッフは各病棟で研修内容を他のスタッフに伝え、患者さまへの排泄介助に役立てています。今回はこのアテントマイスター・プロとその日の様子について少し紹介をしていきたいと思います。

アテントマイスター・プロの研修では大まかに排泄ケアの基礎知識、オムツについて、スキンケアとリスク管理の座学と、当て方やディスクッションなどの実技の後、筆記と実技のテストを行いました。

排泄ケアの基礎知識では、主に人体の仕組みや排泄における障がい、さらに排泄にまつわるトラブルなどを学びました。

オムツについてはアウターに合わせた選び方や商品紹介、もれのない当て方の説明などがありました。

アテント
マイスター
研修 ♡♡♡

スキンケアとリスク管理では、衛生管理として多すぎる重ね付けは蒸れを引き起こす、また褥瘡が発生するメカニズムや要因などを学びました。

最後に実技では、実際にオムツの付け方や使い方、介助が困難な方へのアプローチの仕方、スタッフが実際にオムツを着けて介助を体験するなどのカリキュラムの後、最終テストを受けアテントマイスター・プロとして認定されます。

カリキュラムを終え、見事合格したスタッフには認定証が贈られました。

この資格を日々の業務に役立て、いっそう皆様のお役に立てるよう精進してまいりますとともに、ご入院の際にお困り事がありましたらお気軽にお声がけください。

看護部二階病棟所属ケアワーカー A・N

行事食

季節を感じられるよう月一回、行事食の提供を行っています。



◆ 8月行事食献立

- 冷やしぶっかけうどん
- 茄子のそぼろあんかけ
- スイカ

8月



◆ 9月行事食献立

- お赤飯、清まし汁
- 天ぷら3種
- きのこの白和え
- 栗ようかん

9月



◆ 10月行事食献立

- きのこごはん
- けんちん汁
- さんまの塩焼き
- かぶと柿のマリネ
- りんごとはちみつのゼリー

10月

my favorite

私のお気に入り

以前は急性期病棟と療養型病棟で働いていました。新しい環境で覚える事が多く大変ですが、一期一会を大切に患者さまと良い時も悪い時も共に過ごせる仕事を目指しております。趣味はエレキギターを弾くことや釣り、バイクで気ままにドライブする事です。バイクに乗っている方、興味を持っている方、気軽に声を掛けてください！ツーリング行きましょう!!

看護補助者 H.K



私のMy Favoriteは「cafe巡り」です。たくさんおしゃれなカフェがある東京での生活は、毎日がワクワクします。コロナ禍で中々巡ってはいませんが、写真のプリンにはほろ苦いカラメルソースと甘いプリンとのコンビネーションが最高でした。何度もほっぺが落ちました。日々の仕事の疲れを癒しながら、たくさんのステキなcafeに出会いたいです。

リハビリテーション科 M.T



私のMy Favoriteは旅行です。コロナ禍前は1~2か月に1回は県外や海外に行っていました。温泉旅館やテーマパーク、ちょっといいホテルやご当地グルメを食べに行ったりと、九州旅行を中心に気分転換をしていました。海外はコロナ前ギリギリにグアムに行くことが出来て、現地の人と話したり、シースポーツをしました。少しずつではありますが、前のような日常が戻りかけているので早く旅行に行きたいなと思います。ちなみに、今行きたい海外No.1は、パリです。世界遺産をたくさん見に行き、他の国も横断してみたいなと思ってます。

看護師 M.H



私のMy favoriteはAIを使って絵を描くことです。描いてほしいものを文章で伝えるとAIが数十秒で描いてくれます。始めたきっかけはSNSでAIによって描かれた絵が話題になっていたからです。「Stable Diffusion」というAIが公開されてからは自分のパソコンに入れて作成しています。右の絵は「ベレー帽をかぶり、絵筆を持っている立ち上がった猫。印象派」を英訳した文章から作りました。自分の描きたいイメージを文字に書き起こすのは難しいですが、自分の想像以上の絵が出てくると嬉しいものです。皆さんも芸術の秋を楽しんでみませんか?

診療情報管理室 A.M

